

*今号ではルビを省かせていただいています。

大分市立碩田学園

題字・文責：佐藤（校長）



学校だより

碩愛

No. 15

R元.5.28 発行



Photo Gallery



嵐を起こした！

児童生徒が見つけたテーマ「嵐をおこせ」の答えは「静と動の切り替え」「変化」「ひとつになる」。今年のも全校のまとまりと力強さを感じる体育大会でした。

碩田学園の歴史と文化を自分たちが創造するとの気概を胸に、児童生徒は日々前進・成長しています。本校では、共通の目標に沿って9年間の成長を共感、共有できる義務教育学校ならではの「よさ」を生かしながら、「生きる力」の効果的な育成に努めています。これまでの取り組みを通じて、知恵と力と心をついに合わせて、困難の先の目標達成の喜びを共有している児童生徒の成長に確かな手ごたえを感じます。

愛する碩田学園の児童生徒の皆さんは、体育大会の成功に自信と誇りを感じながら、次の目標に向けてまたさらに頑張っていくことでしょう。これもひとえに、いつも温かく支え励ましてくださる保護者、地域の皆さまのご理解とご協力の賜物。改めて深く感謝を申し上げます。これからも、どうぞよろしく願いたします。



いかのおすし…声かけ事案多発

最近、市内で不審者事案が連続発生しています。特に下校時の声掛けが多いとのこと。

不審者は「おかし（おこづかい）をあげる」「おうちの人が事故にあっって、あなたを病院に連れて行って頼まれている」など、様々な手口で近づいてきます。悪意を持った人がこのような声掛けをするのは、いずれも、連れ去ろうとしたり、いたざらしようとしたりするのための“ウソ”だと見抜く力も必要です。児童生徒のみなさんは「いかのおすし」は知っていますね。実行しましょう。通学路であれば、見守りの人たちも多くいます。

もしもの場合には、助けを求めて「助けてー」と大きな声をだすことも自分の身の安全を守る手立てです。

世紀の大接戦

3回勝負の応援合戦は紅軍2勝、白軍1勝でしたが、旗の合点数でみると紅軍7本に対し白軍8本でした。数字があらわす通りの大接戦でした。

